

平成30年度事業報告書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

NPO法人ペアレントサポート・すべてふ

1 事業の成果

【事業内容】前年度は、主にトヨタ財団から助成を受けたプロジェクトを中心とした事業計画を立てていた。具体的には以下の通り。

- ①保護者の居場所「うさぎカフェ」の運営
- ②かがやき手帳指導者養成講座
- ③“発達に不安のある子どもの保護者の居場所”ノウハウ移転
- ④コンセプトカフェ“支援との出会い場”（成人障がい者の保護者と支援者の出会いの場）
- ⑤保護者支援“草の根講座”
- ⑥“保護者の居場所”テキスト本発行
- ⑦障がい児の保護者支援啓発フォーラム

実施について説明する前に、7月6日～7日にかけて、倉敷市は、西日本豪雨による甚大な被害を被ったということを特筆しなければならない。これは岡山県にとって未曾有の災害となり、真備町では障がい児・者のいる家庭の被災、まきび支援学校全体の被災等、障がい者に関する被害も多くあり、法人は被災地の支援に1年間の多くを割くこととなった。予定していた事業計画の遂行にも、多大な影響があった。

- ①について。発災以来、災害支援関係の活動、つまり「真備カフェ」が、通常の粒浦での営業日の合間合間にに入るようになり、粒浦での営業日が、1週間に2回を保てなくなった。真備カフェの対象は被災者のみであったため、一般の保護者を受け入れられる通常営業日が少なくなり、そのために利用者数も前年度に比べ激減した。
- ②について。8月に支援者向けのキックオフ講演会を実施するはずであったが、発災を受けて開催を10月に延期した。それに伴い、養成講座の実施日程も見直し、11月・1月・2月の3ヶ月で実施。年度中に第1クールのみ、修了することができた。
- ③について。ノウハウ移転は、唯一、発災の影響をほとんど受けすことなく進行できた。座学、実習、講演会、1日居場所、いずれも満足度の高い内容となり、移転先である「一般社団法人チカク」様が保育士の団体であったことで、非当事者への移転による支援の広がりや、障がいとまでは言えないラインにいる子どもの保護者の悩み、その人たちへの支援アプローチなど、法人側も新たな知見を得ることができた。
- ④について。コンセプト・カフェも発災の影響をそれほど受けることなく、1年を通じてコンスタンントに開催できた。毎月最終日曜日に設定するようにし、支援者も5～6人でローテーションして参加してもらうことによって気心の知れた関係性の中で、時に答えづらい難しい相談が来た

にも関わらず、毎回満足度の高い会にすることができた。

- ⑤ について。草の根講座が、本年度中に最も進ませられなかつた事業となつた。「どこの公民館にどういう形で頼むか」を迷つてゐるうちに災害が起き、公共の施設は夏以降、災害支援一色に染まつたため、この講座について話が進められる状況ではなくなつた。
- ⑥ について。テキスト本の発行についても、発災を受けて見直しをせざるを得なかつた。被災地支援関係のイレギュラーな事業が入つてくる中で本作成に割く体力はなく、次年度に持ち越すこととしたが、むしろ被災地での居場所づくりの経験をも本の中に盛り込むことで、今後別の災害が起きた時に参考にしてもらえるような本を発行しようという新たな、より有効なプランに変更することができた。
- ⑦ について。保護者支援啓発フォーラムは、今回初めて、県外からのゲストを呼ばず、すべて自分で行ったが、100名を超える参加者を得ることができ、法人のブランド力の定着を実感することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

A) 茶話会活動

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
出張相談	5/23 倉敷西小学校（出前茶話会） 6/15 ピアサロン（児島はばたき） 9/7 まきび支援学校（出張うさぎカフェ） 9/21 連島北小学校（出前茶話会） 10/10 まきび支援学校（出張うさぎカフェ） 10/20 かるがもキャンプ（由加山） 10/31 倉敷西小学校（出前茶話会） 11/30 日本子ども虐待防止学会（出張うさぎカフェ） 12/13 まきび支援学校（出張うさぎカフェ） 3/15 ピアサロン（児島はばたき）	市内各所	各回 2~4 名	各回 5名～ 40名	66

B) ハンドブック作成事業

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
販売活動	6/10 岡山大学 津島キャンパス (ポケットサポート) 12/2 井原市講演会 12/12 真庭市講演会 1/29 早島町講演会 3/10 保護者支援啓発フォーラム	市内各所	4~9名	5名~148名	115

C) 講演会活動

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
講演会	10/3 養成講座キックオフ 12/2 井原市講演会 12/12 真庭市講演会 1/29 早島町講演会 3/10 保護者支援啓発フォーラム	健康福祉プラザ 井原保険セン ター 久世保健福 祉会館 ゆるびの舎 健康福祉プラ ザ	2~9名	94名 40名 12名 41名 125名	347
講師派遣	6/1 かがやき手帳を書く会 (めやすばこ) 6/8 かがやき手帳を書く会 (めやすばこ) 6/10 かがやき手帳を書く会 (ぱるかふえ) 8/18 かがやき手帳を書く会 (住倉) 8/24 かがやき手帳を書く会 (倉敷学園) 9/1 療育アカデミー 9/22 かがやき手帳を書く会 (老松保育園) 2/12 操山公民館 12/7 旭川莊厚生専門学院 12/9 総社市 講演会 (浅尾分館) 2/26 かがやき手帳を書く会 (センタークムレ) 3/1 かがやき手帳を書く会 (めやすばこ)	市内各所	各回 1~3 名	各回 5名~ 40名	56

D) 居場所づくり事業

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
居場所	4/12.17.19. (22) 24.26. 5/ (1) 8.10.15. (24) (27) 29.31 6/5.7.12. (14) 19. (24) 26. (28) 7/ (3) 5.10.17. (22) 8/ (30) 9/4.6.11.13.16.18.20.25.27. 10/2.4.9.11.16.18. (25) (28) 11.6.8.13. (20) (25) 1/8.10.17. (22) 24. (27) 2/ (7) 14. (19) 21. (24) 28 3/5.7.12.14. (17)	倉敷市粒 浦 217-2 (うさぎ カフェ)	3~5 人	790 名	4600
居場所づ くりノウ ハウ移転	7/12 ノウハウ移転パターンA座学 (チ カク) 7/17 ノウハウ移転実習 8/30 ノウハウ移転パターンB座学 10/4 ノウハウ移転実習 2/17 ノウハウ移転実習 2/21 ノウハウ移転実習 2/22 1 日居場所	プラザ うさぎカフェ うさぎカフェ うさぎカフェ うさぎカフェ うさぎカフェ いかしの舎	2~9 名	2名~50名	200
人材育成	11/5 かがやき手帳を書く会実施者養成 講座 (第1回目) 1/25 かがやき手帳を書く会実施者養成 講座 (第2回目) 2/27 かがやき手帳を書く会実施者養成 講座 (第3回目)	健康福祉プ ラザ		6 名	20
被災者支 援	真備カフェ 11/11.22.12/4.16.1/15.2/5.17.3/19.	まびのみち	3~4 名	43 名	100

● 別表1 居場所カフェ年間実績

	開所日数	月間利用者数	1日あたり平均利用者数	事前申込勉強会・イベント除く利用者数
4月(6日)	6	77	13	69
5月(8日)	8	83	10	65
6月(7日)	8	99	12	84
7月(5日)	5	70	14	57
8月(1日)	1	10	10	0
9月(9日)	9	100	11	100
10月(8日)	8	79	10	73
11月(6日)	5	62	12	56
12月(0日)	0	0	0	0
2019年1月(6日)	6	64	11	60
2月(6日)	6	84	14	68
3月(5日)	5	62	12	60
合計	67	790	12	692

(利用者数は子ども含む・講師除く)

● 別表2 真備カフェ実績

月日	利用者数
11月11日	7
11月22日	5
12月4日	3
12月16日	15
2019年1月15日	2
2月17日	3
3月19日	3
2月5日	5
合計	43

(2) 他の事業

今年度実施なし。